



## ① 本年度の生徒会が始動しました！

### (1) 生徒会オリエンテーション

■4月12日(月)5・6時間目に、生徒会役員が生徒会活動や中学校生活を新入生にレクチャーする「生徒会オリエンテーション」が行われました。このオリエンテーションは、1年生に本校の生徒会の活動内容を知ってもらい、積極的に参加してもらおう動機付けの機会とすることを目的に行われました。主な内容は次のようになります。生徒会役員にとっても1年生の前で初めて説明する機会になり、生徒会役員・1年生ともに緊張したスタートとなりました。生徒会役員の紹介や各委員会の仕事内容の説明が終わり、生徒会役員総出演の「一日の生活について」の寸劇の場面では、1年生に笑顔も広がりお互いの距離感が縮まりました。そこで、今回は1年生と生徒会役員各1名の感想を紹介します。

#### 《1年生 さん》

■私は中学校に入学する際に楽しみな気持ちと不安な気持ちの両方がありました。そのような中、生徒会オリエンテーションを迎えました。中学校では生徒が中心となって学校を創っていくこというところに、小学校との違いを感じました。特に、「一日の生活について」の劇では、生徒会の先輩たちが楽しく、分かりやすく説明してもらったおかげで、中学校生活への不安が小さくなり、これからの中学校生活を頑張ろうと思えるようになりました。

#### 《文化委員長 3年生 さん》

■私は今回の生徒会オリエンテーションを通して2つのことを改めて感じました。1つは、たくさんの人の前で発表・説明することの難しさです。たくさんの人の前では緊張感が増し、話す言葉のスピードが速くなり、きちんと伝わったかどうか不安になりました。これからは、伝えることを第一に、適切なスピードを意識したいと考えています。2つは、成し遂げることの楽しさです。私はあまりこのような機会がなかったのですが、寸劇を含め自分自身も楽しんですることができ、良い経験となりました。

### (2) 新入生歓迎会

■4月16日(金)の生徒会新入生歓迎会が行われました。本年度は新型コロナウイルス感染状況を鑑み密になることを避け、4時間目に1年生と2年生、5時間目に1年生と3年生の2部に分けて歓迎会の実施となりました。この歓迎会は、企画・運営等を全て生徒会役員が行い、当日も円滑に進行することができました。そこで、1年生と生徒会役員各1名の感想を紹介します。

#### 《1年生 さん》

■入学式の翌週、先輩がたが新入生歓迎会を開いてくださいました。歓迎会では、借り人競走やドッジボールを通じて、先輩がたと交流を深めることができました。入学してすぐは新しい学校生活に不安でいっぱいでしたが、この歓迎会を通して不安が期待に変わりました。

これからの中学校生活は、先輩がたのように勉強も部活動も遊びも思い切り楽しんでいきたいと考えています。

#### 《生徒会書記 2年生 さん》

■昨年は新型コロナウイルス感染防止のため、現2年生の新入生歓迎会はできませんでした。そのため、今年はどうのような歓迎会になるのかドキドキしていました。結果、今年行った新入生歓迎会は、本当に最高であったと感じました。想像以上に楽しく、1年生と先輩たちの仲を深めることもでき、まさに一石二鳥でした。これからもこのような機会が1年生とダジャレ対決をしたい希望が大きくなりました。1年生の皆さんとそれができる日を楽しみにしています。

## 2

## 2年ぶりの体育祭に向けて

■昨年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休業のため実施できなかった「太宰府中体育祭」を、本年度は実施すべく動き出しました。体育祭実行委員会は4月初日から準備を重ね、4月21日(水)の「結団式」を皮切りに「チーム太宰府」の体育祭に向けた取り組みがスタートしました。本年度も、新型コロナウイルスの感染状況が厳しい中での実施となり、5月16日(日)は12:30までの半日開催、保護者や来賓の皆さまの参観を制限させていただくこととなりご迷惑をおかけしますことをご詫言申し上げます。しかし、生徒はこのような状況の中でも「盛瞬!～熱く燃える輝け青春～」のテーマ実現に向け、練習やテーマ旗の制作に励んでいます。そこで今回は、3ブロック長の決意を紹介します。

### 《赤ブロック長》

■赤ブロック長の です。私は勝ったときに全力で喜び、負けたときにプラスの言葉をかけ、他のブロックが勝ったときには拍手を送ることができる、温かい赤ブロックにしたいと思っています。そのためには、私はブロック全体に気を配り、「盛瞬」のように一瞬一瞬を全力で楽しみます。そして、最高の体育祭がつかれるように努力します。

### 《青ブロック長》

■青ブロック長の です。私はこの体育祭を各ブロックが切磋琢磨し、高め合い、全力でぶつかり合い、最後に全員が笑顔で終われるような体育祭にしたいと考えています。新型コロナウイルスの影響で暗い気持ちになった人も少なくないでしょう。だからこそ、今回の体育祭に全力で取り組み、暗い気持ちを吹き飛ばして、例年よりも盛り上がる体育祭をつくり上げていきます。体育祭の一瞬一瞬を全力で盛り上げていきましょう。

### 《黄ブロック長》

■黄ブロック長の です。私は一人一人が全力で体育祭に取り組み、黄ブロックのテーマである「星花一輝」の意味である笑顔の華を咲かせる、星のようにきらきら輝き、一生の思い出に残るような体育祭にするために、ブロックや全校生徒のために全力で取り組みます。優勝を目指して頑張ります。

## 3

## 福岡県出身 杉山龍丸さんを知っていますか?

■本年度から筑紫地区内の中学校で採択された3年生国語の教科書の中に、杉山龍丸さんの「二つの悲しみ」という作品(エッセイ)が掲載されています。この作品の著者である杉山龍丸さん(1919～1987)は生前、太宰府市国分にお住まいになったことがあるそうです。龍丸さんの祖父は作家の夢野久作氏、祖父 杉山茂丸氏は明治維新後、政界で手腕を振るった方だそうです。龍丸さんご自身は、インドの緑化運動に力を注ぎ、インドでは「グリーン・ファーザー」と呼ばれているそうです。

■その杉山龍丸さんのご息子が本校に来校され、父 龍丸さんのたどった軌跡をまとめた著書「グリーン・ファーザー ～インドの砂漠を緑にかえた日本人・杉山龍丸の軌跡～」や、祖父 夢野久作氏の童話「ルルとミミ」他を寄贈して下さいました。太宰府市にゆかりのある方がどのような生き方をされてきたのか、また、どのような作品を書かれたのか、国語の教科書に掲載されている「二つの悲しみ」とあわせて読んでみるのもいいですね。

■寄贈された本は図書室に置かせていただきます。貸し出し準備が整ったら、ぜひ手に取ってみてください。



【寄贈された本 左から「グリーン・ファーザー」中央「Green Father (英語版)」、右「童話 ルルとミミ」】



【3年生国語 P259 掲載】